

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	電装整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年後期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	114.0時限（期末試験を除く）		
担当教員名	松原 吉彦・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車の電装関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	二輪自動車の電装関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術の習得。		
テキスト	①実習テキスト ②サービスマニュアル ③自動車定期点検整備の手引き		
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	基本回路 サーキット・テスタ	サーキット・テスタを用いて基本回路において電圧、電流、抵抗の測定を習得する	①6～19 179
第2回	ECシステム 増幅基本回路	トランジスタ点火増幅回路の学習 トランジスタを用いて増幅回路をボードで作成し測定することで増幅率の学習を行う	
第3回	ECシステム 調圧基本回路	オルタネータ充電制御回路の学習 ツェナダイオードを用いてレギュレート回路をボードで作成し測定することで充電制御の学習を行う	
第4回	点火装置 AC-CDI	車両から装置を外し、点火の原理、システム回路の理解と構成部品名称の確認と習得をする	①175～177
第5回	点火装置 DC-CDI	車両から装置を外し、点火の原理、システム回路の理解と構成部品名称の確認と習得をする	
第6回	点火装置 トランジスタ式	車両から装置を外し、点火の原理、システム回路の理解と構成部品名称の確認と習得をする	
第7回	始動装置1	自動無段変速機構車の始動装置システムの理解、部品名称、構造の習得をする	①173
第8回	始動装置2	二輪マニュアルトランスミッション車の始動装置システムの理解、部品名称、構造の習得をする	②
第9回	充電装置	二種類の車両を使用し、充電装置関連構成部品の名称、働きを確認し各々の充電制御回路の違いを理解し習得する	①174 ②
第10回	メータ、灯火装置、スイッチ 1	灯火装置による電源の制御の違いを理解し分類する 灯火装置や各種スイッチの教材を使用し、点検方法を習得する	①180～182 ②

第 11 回	メータ、灯火装置、スイッチ 2	配線図の読み方を習得する 関連部品のシステム回路図を作成出来るようになる	①180～182
第 12 回	メータ、灯火装置、スイッチ 3	車両の灯火装置を使い点検及び良否の判定を行う 第10～第11回の内容で小テストを行い理解度を確認する	②
第 13 回	定期点検	24ヶ月定期点検の作業項目把握と記録簿の記入の方法を習得する ・エンジン、動力伝達装置、ステアリング装置、ブレーキ装置、足廻り、電気・保安装置の各項目を点検する ・上記点検作業の流れがスムーズに出来るようになること	③
第 14 回			③
第 15 回			③
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第15回までの授業内容に関する 実技試験	
	期末試験	第1回～第15回までの授業内容に関する 実技試験	
到達目標	基本回路の理解と、点火、充電、始動の基礎となる部分の理解、習得を目標とする。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		